

便利な機能

各種機能の設定状況を確認する.....	<設定状況確認>382	通話中の相手の声や待受中の自分の声を録音する	
マルチアクセス.....	<マルチアクセス>382	<通話中音声メモ/待受中音声メモ>396
マルチアシスタント(マルチタスク)		通話時間/料金を表示する.....	<通話時間/料金確認>396
.....	<マルチアシスタント(マルチタスク)>382	電卓として使う.....	<電卓>398
自動的に電源をONにする.....	<自動電源ON>383	メモを入力する.....	<テキストメモ>399
自動的に電源をOFFにする.....	<自動電源OFF>384	スイッチ付イヤホンマイクの使いかた	
一定の時間が経過するとアラームで知らせる.....	<タイマー>384	<スイッチ付イヤホンマイク>400
指定した時刻にアラームで知らせる.....	<アラーム>385	イヤホンをつないで自動で電話を受ける...	<オート着信設定>401
スケジュールを管理する.....	<スケジュール>387	Bluetooth機能を利用する.....	402
よく使う機能を手早く実行する....	<ショートカットメニュー>393	各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す	
いろいろな方法で検索する.....	<クイック検索>394	<設定リセット>411
自分の名前や画像を登録する.....	<所有者情報登録>395	登録データを一括して削除する.....	<ユーザデータ削除>412

各種機能の設定状況を確認する

- 1 カスタムメニューで[Settings] ▶ [一般設定] ▶ [確認] ▶ [設定状況確認]
- 2 端末暗証番号を入力 ▶
- 3 機能を選ぶ ▶

マルチアクセス

FOMA端末では音声電話や i モード通信、データ通信など、複数の通信を同時に利用できます。

- 同時に使用可能な通信機能の組み合わせについてはP.48「マルチアクセスの組み合わせ」

通話中に他の通信を利用する

- 1 音声電話の通話中に
- 2 機能を選ぶ ▶
- 3 通信機能を利用する
 - 通話中画面に戻る: ▶ [音声電話] ▶

通信中に音声電話を発信する

例: i モード中のとき

- 1 サイトなどで表示されている電話番号を選ぶ ▶
- 2 / ▶ [はい]
 - サイトなどに戻る: 通話終了 ▶

マルチアシスタント(マルチタスク)

マルチアシスタント(マルチタスク)を使うと、複数の機能を同時に利用できます。

- 電話着信などにより、4つ以上の機能が同時に動くことがあります。
- 同時に使用可能な機能の組み合わせについてはP.482「マルチアシスタント(マルチタスク)の組み合わせ」

新しい機能呼び出す

1 機能の利用中に

- 通常ポジションのときは、を押すとワンセグを起動できます。



機能選択画面



用途選択画面

- 複数の機能の動作中に を押したときは、アプリ切替画面が表示されます。を押すと用途選択画面→機能選択画面→アプリ切替画面の順に、を押すと機能選択画面→用途選択画面→アプリ切替画面の順に切り替わります。

2 機能を選ぶ ▶

- 音声電話の発信: ▶ 電話番号を入力 ▶

操作する機能を切り替える

1 複数の機能の動作中に

2 機能を選ぶ ▶

お知らせ

- 複数の機能の動作中にビューアポジションにすると、アプリ切替画面が表示されます。使用する機能をタッチして選ぶことができます。

機能を終了する

■ 操作中の機能を終了する

1 複数の機能の動作中に

- 操作中の機能が終了し、動作中の他の機能が表示されます。

■ 機能を選んで終了する

1 複数の機能の動作中に

2 機能を選ぶ ▶

- すべての機能を終了するとき:  ▶ [はい]

自動電源ON

自動的に電源をONにする

指定した時刻に自動的にFOMA端末の電源を入れます。

- あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください(※P.56)。
- 自動電源ONを解除するまで、毎日同じ時刻に動作します。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くや、航空機内、病院など使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ自動電源ONを解除してから、FOMA端末の電源を切ってください。

1 カスタムメニューで[Settings] ▶ [一般設定] ▶ [自動電源ON/OFF] ▶ [自動電源ON]

2 [自動電源ON設定]欄を選ぶ ▶ ▶ [ON]

- 設定の解除: [OFF] ▶ 

3 [時刻]欄を選ぶ ▶ ▶ 時刻(24時間制)を入力 ▶

4 [アラーム設定]欄を選ぶ ▶ ▶ [ON]

- アラームの解除: [OFF] ▶ 

5 [アラーム音]欄を選ぶ ▶ ▶ アラーム音を選ぶ ▶

- アラーム音の確認: アラーム音を選ぶ ▶ 

6 [アラーム音量]欄を選ぶ ▶ ▶ で音量を調節 ▶

7 ▶ [確認]

■ 指定した時刻になると

自動的に電源が入り、確認メッセージが表示されます。

- アラーム設定を[ON]に設定しているときは、約15秒間アラームが鳴ります。次のボタンを押すとアラームが止まります。
 - FOMA端末を開いているとき: いずれかのボタン(, )を除く)
 - FOMA端末を閉じているとき: 
- 指定した時刻に電源が入っていたときも、同様に動作します。
- 通話中や着信時は、通話終了後にアラームが鳴ります。

お知らせ

- 自動電源ONとアラーム(アラーム/スケジュール/視聴予約/録画予約)を同じ時刻に設定すると、自動電源ONが優先されます。自動電源ON通知終了後、アラームが動作します。
- 電池パックを取り外して電源を切ったときには、自動電源ONが動作しないことがあります。

アラーム設定時刻に自動で電源を入れてアラームを鳴らす<アラーム連動電源ON>

1 カスタムメニューで[Settings] ▶ [一般設定] ▶ [自動電源ON/OFF] ▶ [アラーム連動電源ON]

2 [ON] ▶ [確認]

- 設定の解除: [OFF]

自動電源OFF

自動的に電源をOFFにする

指定した時刻に自動的にFOMA端末の電源を切ります。

- あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください(☞P.56)。
- 自動電源OFFを解除するまで、毎日同じ時刻に動作します。

1 カスタムメニューで[Settings] ▶ [一般設定] ▶ [自動電源ON/OFF] ▶ [自動電源OFF]

2 [自動電源OFF設定]欄を選ぶ ▶  ▶ [ON]

- 設定の解除: [OFF] ▶ 

3 [時刻]欄を選ぶ ▶  ▶ 時刻(24時間制)を入力 ▶ 

■ 指定した時刻になると

自動的に電源が切れます。

- 指定した時刻に何かの操作をしていると、確認画面が表示されます。[はい]を選択するか、約1分間何も操作しないでそのままにしておくと、電源が切れます。

お知らせ

- 自動電源OFFとアラーム(アラーム/スケジュール/視聴予約/録画予約)を同じ時刻に設定すると、自動電源OFFが優先されます。

- 次の場合は、指定した時刻になっても確認画面が表示されません。通信・操作を終了し、通信・操作前の画面や待受画面に戻ると、確認画面が表示されます。

- 通話中
- i アプリ起動中
- 赤外線通信中
- ソフトウェア更新中
- i C通信中

タイマー

一定の時間が経過するとアラームで知らせる

設定した時間が経過したときに、タイマー音やランプ、バイブレータでお知らせします。

- タイマー音は、いずれかのボタン(を除く)を押すと止まります。
- タイマー音の設定については☞P.109
- ランプの設定については☞P.123
- バイブレータの設定については☞P.111

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [タイマー・アラーム] ▶ [タイマー]

2 時間(00分01秒~99分59秒)を入力 ▶ 

- 時間を3分にリセット: 
- カウント停止/再開: 
- タイマー解除: 

お知らせ

- タイマーを利用中に着信やメール受信があっても、タイマーは継続します。ただし、通話中やメール受信中等、タイマーが表示されていないときに設定した時間が経過しても、アラームは動作しません。

関連操作

待受画面からタイマーを使う<タイマー>

待受画面で時間(1~99分)を入力 ▶  ▶ [タイマー]

指定した時刻にアラームで知らせる

指定した時刻・曜日に、アラーム音やランプ、バイブレータでお知らせします。

- アラームは9件まで登録できます。
- あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください(☞P.56)。
- ランプの設定については☞P.123
- バイブレータの設定については☞P.111

アラームを登録する

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [タイマー・アラーム] ▶ [アラーム]

2 登録する番号を選ぶ ▶ 3 [時刻入力] ▶ 時刻(24時間制)を入力 ▶ 4 [繰り返し設定] ▶ くり返し方法を選ぶ ▶

- 曜日の指定: [曜日指定] ▶ 曜日を選ぶ (くり返し可) ▶
 - は選択、は解除の状態です。
 - [休日設定日を除く]を選択した場合、スケジュールで休日設定・祝日設定されている日はアラームが動作しません。

5 [メッセージ] ▶ メッセージを入力 ▶

- 全角30文字(半角60文字)まで入力できます。

6 [連絡先] ▶ 入力方法を選ぶ

- [電話帳検索] ▶ 名前を選ぶ ▶
- [直接入力] ▶ 電話番号を入力 ▶

7 [アラーム音選択] ▶ アラーム音を選ぶ ▶

- アラーム音の確認: アラーム音を選ぶ ▶
- アラームを鳴らさないとき: [アラーム音選択] ▶ [設定なし]

8 [アラーム音量選択] ▶ で音量を調節 ▶ 9 [スヌーズ設定] ▶ [ON] ▶ 間隔を入力 ▶ ▶ 回数を入力 ▶

- アラームが鳴る間隔と回数を設定できます。

10 [鳴動時間] ▶ 鳴動時間を入力 ▶ 11

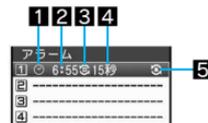
お知らせ

- ダイヤル発信制限中は、連絡先を設定できません。
- 複数のアラームを同じ時刻に設定したときは、次の優先順位で動作します。

	優先順位(高→低)
アラーム機能	録画予約→視聴予約→アラーム→スケジュール

- 視聴予約と録画予約を同じ時刻に設定したときは、視聴予約アラームは動作しません。

■ 設定内容画面の見かた



1 アラーム設定中マーク

2 設定時刻

3 くり返し設定の内容表示



4 鳴動時間

5 スヌーズ設定中マーク

アラームを解除／削除／再設定する

アラームは、1件ごとに設定(再設定)／解除／削除できます。削除すると登録内容が消えますが、解除しても登録内容は消えません。再設定を行うことで、再び同じ内容でアラームを動作させることができます。

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [タイマー・アラーム] ▶ [アラーム]

2 登録する番号を選ぶ ▶ 解除／削除／再設定する

- 解除／再設定:
- 削除: ▶ [はい]

スケジュール

スケジュールを管理する

予定の日時、内容などを登録して管理できます。アラームの設定やメッセージ表示などもできます。

- あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください(☞P.56)。
- スケジュールは300件まで登録できます。
- 2000年1月1日～2099年12月31日まで登録できます。

カレンダーを表示する<カレンダー>

スケジュール機能で登録した予定や、視聴予約・録画予約の内容を確認できます。

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [スケジュール]

- 前月／次月を表示: /

■ 指定した日付のカレンダーを表示する<日付指定表示>

- 1 カレンダー画面で ▶ [表示] ▶ [日付指定表示]
- 2 日付を入力 ▶

関 連 操 作

待受画面から日付を入力してカレンダーを表示する
待受画面で日付を入力 ▶ ▶ [スケジュール]

関連お知らせ

- 日付入力と表示されるカレンダーの対応は次のとおりです。
 - 01～31: 今月のカレンダー(1日～31日)
 - 0101～1231: 指定月日のカレンダー(1月1日～12月31日)
 - 20000101～20991231: 指定年月日のカレンダー(2000年1月1日～2099年12月31日)

■ カレンダーの表示方法を切り替える<表示切替>

- 1 カレンダー画面で ▶ [表示] ▶ [表示切替]
- 2 表示方法を選ぶ ▶

お知らせ

- カレンダーの表示をアイコン表示に切り替えても、待受画面のカレンダー表示設定には反映されません。待受画面のカレンダー表示設定については☞P.115

■ カレンダー画面の見かた



- 1 本日(反転表示)
- 2 選択している日(緑色で表示)
- 3 選択している日(黒線枠で表示)
- 4 休日設定/祝日設定されている日(赤色で表示)
- 5 登録されている予定(分類別にアイコンで表示)
 - 視聴予約には[📺]、録画予約には[📺]が表示されます。
- 6 予定が登録されている日(アンダーライン表示)

スケジュールを登録する

- 開始日時と内容は必ず設定してください。

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [スケジュール] ▶

📅 ▶ [新規作成]

- 通常表示のときは、カレンダー画面で[📅]を押しても新規登録できます。

2 [日時] ▶ 開始日を入力 ▶ 時間(24時間制)を入力 ▶

- カレンダーから日付を選ぶとき:日時設定画面で📅 ▶ 🕒 で日付を選ぶ ▶
- 開始日時と同様に、終了日時も設定できます。
- 終了日時のリセット: [🔄]

3 くり返し方法を選ぶ ▶

- [1回のみ]のとき:[1回のみ] ▶ 操作5へ
- 終了日時を設定している、[1回のみ]以外は選択できません。

4 くり返し回数を入力 ▶

- くり返しの回数に「00」を入力したときは、くり返し回数は制限なしとなります。

5 [要約] ▶ 要約を入力 ▶

- 全角20文字(半角40文字)まで入力できます。

6 [分類] ▶ 分類アイコンを選ぶ ▶

7 アラームを設定する

- アラームの設定についてはP.390「アラームを設定する」

8 [画像] ▶ [マイピクチャ] ▶ 静止画を選ぶ ▶

- 静止画の確認:静止画を選ぶ ▶
- 設定した画像は、予定リスト画面やスケジュール詳細画面に表示されます。

9 [連絡先] ▶ 入力方法を選ぶ

- ◆ [電話帳検索] ▶ 名前を選ぶ ▶
- ◆ [直接入力] ▶ 電話番号を入力 ▶
- 設定した連絡先は、スケジュール詳細画面に表示され、電話をかけることができます。

10 [シークレット] ▶ 設定を選ぶ ▶

11 [内容] ▶ 内容を入力 ▶

- 全角100文字(半角200文字)まで入力できます。

お知らせ

- タイヤル発信制限中は、連絡先を設定できません。

シークレット登録について

- シークレット登録したスケジュールは、シークレットモード（P.138）を[ON]に設定しない限り、読み出すことができません。また、設定したアラームは動作しますが、電話番号やメッセージ、画像は表示されません。

関連操作

アイコン表示カレンダーから分類アイコンのみを登録する

アイコン表示のカレンダー画面で  で日付を選ぶ  ▶ 分類アイコンを選ぶ  

- カレンダー画面のアイコン表示についてはP.38「カレンダーの表示方法を切り替える」

リダイヤル／着信履歴を連絡先に登録する

リダイヤル／着信履歴を選ぶ  ▶ [スケジュール作成] ▶ スケジュールを登録

i モードメールの本文を内容に登録する

受信／送信メールを表示する  ▶ [登録／保存] ▶ [スケジュール作成] ▶ スケジュールを登録

テキストメモの本文を内容に登録する

カスタムメニューで [LifeKit] ▶ [テキストメモ] ▶ テキストメモを選ぶ  ▶ [作成] ▶ [スケジュール作成] ▶ スケジュールを登録

静止画を画像に登録する

- 1 マイクチャの静止画を選ぶ  ▶ [画面設定] ▶ [スケジュール画像設定]
 - 撮影後すぐに登録: 静止画撮影後のプレビュー画面で  ▶ [画面設定] ▶ [スケジュール]
- 2 スケジュールを登録

関連お知らせ

分類アイコンの登録について

- スケジュールには、次の内容が登録されます。
 - 日時: カーソル日 + 操作した時間
 - 分類: 選択したアイコンの分類

リダイヤル／着信履歴の登録について

- 表示されるスケジュールの予定登録画面には、あらかじめ次の内容が登録されています。
 - 日時: 発信／着信日時
 - 連絡先: 電話番号

i モードメール本文の登録について

- 表示されるスケジュールの予定登録画面には、あらかじめ次の内容が登録されています。
 - 日時: 受信／送信日時
 - 連絡先: 差出人／宛先が登録されている電話帳の1つ目の電話番号
 - 内容: メール の 題名 と 本文 (全角100文字 / 半角200文字) まで

テキストメモ本文の登録について

- 表示されるスケジュールの予定登録画面には、あらかじめ次の内容が登録されています。
 - 分類: テキストメモの分類
 - 内容: テキストメモの本文

静止画の登録について

- 表示されるスケジュールの予定登録画面には、あらかじめ次の内容が登録されています。
 - 日時: 静止画の保存日時
 - 画像: 静止画のタイトル名
- microSDカード内の静止画は、直接スケジュールに登録できません。FOMA端末(本体)にコピーしてから登録してください。
- 保存先をmicroSDカードに設定して撮影しているときは、スケジュール登録できません。

アラームを設定する

予定の開始時刻前にアラームでお知らせするように設定できます。

- バイブレータの設定についてはP.111

- 1 **スケジュールの予定登録画面で[アラーム] ▶ [ON]**
- 2 **[アラーム時刻] ▶ アラーム時刻(予定開始時刻の何分前)を入力 ▶**
- 3 **[鳴動時間] ▶ 鳴動時間を入力 ▶**
- 4 **[アラーム音選択] ▶ アラーム音を選ぶ ▶**
 - アラーム音の確認: アラーム音を選ぶ ▶
 - アラームを鳴らさないとき: [アラーム音選択] ▶ [設定なし]
- 5 **[アラーム音量選択] ▶ で音量を調節 ▶**
- 6

お知らせ

- 同じ時刻に複数のスケジュールアラームを設定すると、設定した回数、アラームが鳴ります。

アラーム設定時刻になると

設定した内容でアラームが動作します。連絡先が登録されているときは、アラームを止めると連絡先が表示されます。

- アラームの止めかたや音量調節についてはP.386「アラーム鳴動中のボタン操作」

お知らせ

- 次のようなときは、アラーム画面に画像や映像が表示されます。
 - スケジュールに画像を設定しているとき
 - アラーム音に映像を含んだ i モーションを設定しているとき
 - 連絡先として登録した電話帳にピクチャーコール(静止画)が設定されているとき

- アラーム画面には、画像や映像が次の優先順位で表示されます。

	優先順位(高→低)
画像	アラーム音に設定した i モーション→スケジュールの画像→電話帳のピクチャーコール設定→グループピクチャーコール設定→通常のアラーム画像

休日を登録/解除する<休日設定>

特定の日や曜日を休日に設定できます。また、設定した休日を解除することもできます。

- 休日は100件まで設定できます。
- 設定した休日は、赤色で表示されます。

- 1 **カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [スケジュール]**
- 2 **で日付を選ぶ ▶ ▶ [設定] ▶ [休日設定]**
 - 毎週同じ曜日を休日に設定したり、休日をすべて解除するときは、日を選ぶ必要はありません。
- 3 **設定/解除方法を選ぶ**
 - ◆ [当日設定/解除]
 - ◆ [曜日指定設定] ▶ 曜日を選ぶ (くり返し可) ▶
 - ・ は選択、 は解除の状態です。
 - ◆ [過去全解除] ▶ [はい]
 - ・ 過去の休日のみすべて(曜日指定で設定した休日を除く)解除できます。
 - ◆ [全解除] ▶ [はい]

お知らせ

- 全解除を行うと、曜日指定で設定した休日はお買い上げ時の設定に戻ります。

祝日を登録／解除する<祝日設定>

- あらかじめ登録されている国民の祝日のほかに、20件まで設定できます。
- 設定した祝日は、赤色で表示されます。

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [スケジュール]

2 で日付を選ぶ ▶ ▶ [設定] ▶ [祝日設定]

- 祝日を解除するときは、日を選ぶ必要はありません。

3 設定／解除を選ぶ

- ◆ [新規登録] ▶ 設定方法を選ぶ ▶  ▶ 祝日名を入力 ▶ 
 - ・ 全角20文字(半角40文字)まで入力できます。
- ◆ [初期設定に戻す] ▶ [はい]

関連操作

設定した祝日内容を変更する

- カレンダー画面で  で変更する祝日を選ぶ ▶  ▶ 祝日設定を選ぶ ▶  ▶ [編集] ▶ 日付を入力 ▶  ▶ 設定方法を選ぶ ▶  ▶ 祝日名を入力 ▶ 

スケジュールを確認する

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [スケジュール]

2 で日付を選ぶ ▶

- 前日／翌日の予定リスト画面を表示:  / 
- microSDカード内の予定を確認するとき:  ▶ [microSDデータ参照]



予定リスト画面

1 日付

2 当日に登録されている件数

3 タイムバー

- スケジュールの開始時刻～終了時刻までの目安が、30分単位で表示されます。

4 アラームの有無

5 予定時刻

6 要約または内容

- 要約が登録されているときは要約が、要約が登録されていないときは内容が先頭全角8文字分(半角16文字分)表示されます。

7 分類アイコン

8 画像

- スケジュールに登録されている画像、または連絡先に設定されている電話帳のピクチャーコールの画像が表示されます。

3 予定を選ぶ ▶

- 登録されている画像の確認: 
- 前後のスケジュール詳細画面を表示: 
- 1つ前／次に予定が登録されている日のスケジュール詳細画面を表示:  / 
- 連絡先が設定されているときは、電話番号が表示され、 を押すと電話をかけることができます。連絡先が電話帳に登録されているときは、名前が表示され、 を押すと電話帳内容表示画面(参照P.102)になります。



スケジュール
詳細画面

分類別に表示する<分類別表示>

カレンダー画面で▶[表示]▶[分類別表示]▶分類を選ぶ▶

連絡先別に表示する<連絡先別表示>

カレンダー画面で▶[表示]▶[連絡先別表示]▶連絡先を選ぶ▶

すべてのスケジュールを確認する<スケジュール全件表示>

カレンダー画面で▶[表示]▶[スケジュール全件表示]
● 予定の確認: 予定を選ぶ▶

スケジュールを i モードメールに添付する<メール添付>

スケジュール詳細画面で▶[メール添付]▶メールを作成・送信

スケジュールをコピーする<コピー>

スケジュール詳細画面で▶[コピー]▶[コピー]

スケジュールの機能別ロックを設定する<機能別ロック>

カレンダー画面で▶[機能別ロック]▶端末暗証番号を入力▶▶[ON]

関連お知らせ

メール添付について

- 視聴予約や録画予約のスケジュールは添付できません。

コピーについて

- コピーしたスケジュールは、メール本文や電話帳などの文字入力画面で、貼り付けたりすることができます。

機能別ロックについて

- 機能別ロックについては [P.134](#)

スケジュールを修正する<編集>

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[スケジュール]

2 で日付を選ぶ▶

3 予定を選ぶ▶▶[編集]

4 予定を修正▶

- 修正方法は、登録時の操作と同様です([P.388](#))。

5 登録方法を選ぶ

- ◆ [新規登録]
- ◆ [上書登録]▶[はい]

スケジュールを削除する<削除>

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[スケジュール]▶▶[表示]▶[スケジュール全件表示]

2 予定を選ぶ▶▶[削除]

3 削除方法を選ぶ

- ◆ [1件削除]
- ◆ [過去全件削除]▶端末暗証番号を入力▶
 - ・ 選択した予定の前日までの予定を削除できます。
- ◆ [全件削除]▶端末暗証番号を入力▶
- ◆ [選択削除]▶予定を選ぶ▶ (くり返し可)▶
 - ・ は選択、は解除の状態です。

4 [はい]

カレンダー画面から削除する

カレンダー画面で▶[削除]▶削除方法を選ぶ▶▶端末暗証番号を入力▶▶[はい]

よく使う機能を手早く実行する

よく使う機能をあらかじめショートカットに登録しておく、簡単な操作でその機能を表示できます。



この位置に登録されている機能は、待受画面で①～③(1秒以上)で実行することができます。

- お買い上げ時の登録
 - ①: バーコードリーダー
 - ②: 赤外線受信
 - ③: 名刺リーダー

ショートカットメニューに登録する

あらかじめ登録されているショートカットに、よく使う機能や i アプリのソフト、ブックマークを上書き登録できます。

- ショートカットは10件まで登録できます。

1 登録したい機能の画面で **MENU** (1秒以上)

- **[✚]**が表示されている機能を登録できます。

2 登録先を選ぶ ▶

- 上書き登録: 登録先を選ぶ ▶ ▶ **[はい]**

お知らせ

- ショートカットに登録した i アプリのソフトやブックマークの URL を削除すると、ショートカットメニューからも削除されます。

関連操作

ショートカットメニューの登録方法を調べる

待受画面で ▶ ▶ **[登録方法]**

ショートカットメニューを実行する

- カレンダーが表示されているときは、を押して非表示にしてください。

1 待受画面で 2 ショートカットアイコンを選ぶ ▶

ショートカットメニューから削除する

1 待受画面で 2 ショートカットアイコンを選ぶ ▶ ▶ **[削除]**

3 削除方法を選ぶ

- **[1件削除]**
- **[全件削除]** ▶ 端末暗証番号を入力 ▶

4 **[はい]**

ショートカットメニューのアイコンを移動する

<アイコン移動>

1 待受画面で 2 ショートカットアイコンを選ぶ ▶ ▶ **[アイコン移動]**3 移動先を選ぶ ▶

- 最初に選んだショートカットと位置が入れ替わります。

ショートカットメニューをお買い上げ時の状態に戻す

<ショートカット リセット>

1 待受画面で ▶ ▶ **[ショートカット リセット]**2 端末暗証番号を入力 ▶ ▶ **[はい]**

いろいろな方法で検索する

電子辞書や i アプリ「ネット辞典」、検索サイトなどを利用することができます。

内蔵辞書	あらかじめ登録、設定した電子辞書を利用して検索します。電子辞書は5つまで登録でき、検索時に電子辞書を変更して検索することもできます。
i アプリ辞書	i アプリ「ネット辞典」を起動して検索します。
i モード検索	キーワードを入力すると、i モードに接続してサイトを検索します。
i Menuから探す	i モードに接続して、i Menuから検索します。
フルブラウザで探す	設定された検索サイトにフルブラウザ接続します。検索サイトは変更できます。

内蔵辞書を利用して検索する

■ 利用する電子辞書を登録する

- お買い上げ時に登録されている電子辞書(☞P.359)を登録できます。

1 カスタムメニューで[Media tool] ▶ [クイック検索] ▶

☞ ▶ [内蔵辞書登録]

2 [未登録]を選ぶ ▶ ☞

- 登録している電子辞書を変更: 電子辞書を選ぶ ▶ ☞
- 登録している電子辞書を解除: 電子辞書を選ぶ ▶ ☞ ▶ [登録解除] ▶ [はい]

3 [辞書登録] ▶ 電子辞書を選ぶ ▶ ☐ ▶ [はい]

- 内蔵辞書で検索する電子辞書に設定: 内蔵辞書一覧画面で電子辞書を選ぶ ▶ ☐

■ 内蔵辞書に登録した電子辞書を利用して検索する

1 カスタムメニューで[Media tool] ▶ [クイック検索]

- 待受画面では: ☐
 - ・ カレンダーが表示されているときは、☐を押して非表示にしてください。

2 [内蔵辞書] ▶ 検索文字列を入力

- 入力モードの切替: ☐
- 文字を入力するたびに、文字入力欄の下に検索結果が表示されます。
- 検索文字列をすべて入力してから検索: ☐ (または ☞ ▶ [キーワード検索]) ▶ 検索文字列を入力 ▶ ☐
- 検索する電子辞書を変更: ☞ ▶ [辞書設定] ▶ 電子辞書を選ぶ ▶ ☐
 - ・ 設定した電子辞書には[☑]が表示されます。

3 検索結果を選ぶ ▶ ☐

i アプリ辞書や検索サイトを利用して検索する

1 カスタムメニューで[Media tool] ▶ [クイック検索]

2 検索方法を選ぶ

- ◆ [i アプリ辞書] ▶ 検索する
- ◆ [i モード検索] ▶ 検索文字列を入力 ▶ ☐ ▶ [はい]
- ◆ [i Menuから探す] ▶ 検索する
- ◆ [フルブラウザで探す] ▶ [はい] ▶ 検索する
 - ・ 検索サイトを登録: ☞ ▶ [インターネットURL登録] ▶ URLを入力 ▶ ☐

関 連 操 作

受信メール詳細画面でクイック検索を利用する

<クイック検索>

受信メール詳細画面で☞ ▶ [クイック検索] ▶ 検索する文字列の開始位置で☐ ▶ 終了位置で☐ ▶ 辞書で調べる

文字入力画面でクイック検索を利用する

ひらがなを入力して☐ ▶ 辞書で調べる

i アプリのソフト一覧画面から起動する i アプリ辞書を設定する<i>i アプリ辞書登録</i>

ソフト一覧画面でソフトを選ぶ▶▶[i アプリ辞書登録]
▶[登録する]▶[確認]

関連お知らせ

クイック検索について

- [i Menuから探す]と[フルブラウザで探す]は選択できません。

受信メールのクイック検索について

- デコメアニメ[®]表示中はクイック検索できません。

文字入力画面のクイック検索について

- 近似予測変換または連携予測変換が[ON]の場合、変換候補を選択して操作することもできます。

所有者情報登録

自分の名前や画像を登録する

- お買い上げ時は、取り付けたFOMAカードの電話番号のみが登録されています。その他に、次の項目が登録できます。

アイコン	登録項目
	名前(全角16文字(半角32文字)まで)
	フリガナ(半角32文字まで)
	ご契約の電話番号(編集不可)
	電話番号(2件、1件あたり26桁まで)
	メールアドレス(3件、1件あたり半角50文字まで)
	会社・学校(全角20文字(半角40文字)まで)
	所属(全角30文字(半角60文字)まで)
	役職(全角20文字(半角40文字)まで)
	郵便番号(半角数字7桁まで)
	住所(全角50文字(半角100文字)まで)

アイコン	登録項目
	誕生日(半角数字、1900年1月1日~2099年12月31日まで)
	メモ(全角100文字(半角200文字)まで)
	所有者画像

1 カスタムメニューで①▶

- 2in1のモードを[デュアルモード]に設定しているときは、Aナンバーの所有者情報が表示されます。
- Bナンバーの所有者情報に切替:

2 端末暗証番号を入力▶▶▶[編集]

- 2in1のBナンバーを登録するとき:Bナンバーの所有者情報詳細画面で▶[2in1契約問合せ]▶[はい]

3 所有者情報を登録▶

- 登録方法は、電話帳と同様です(P.97)。

お知らせ

- i モードのメールアドレスを変更しても、所有者情報詳細画面に表示されるメールアドレスは、自動的に変更されません。メールアドレスは登録し直してください。
- microSDカード内の電話帳の内容を所有者情報にコピーすることもできます(P.103)。

所有者情報の詳細を表示する

1 カスタムメニューで①▶

2 端末暗証番号を入力▶

- 表示項目の選択:

関 連 操 作

所有者情報の登録内容をコピーする<i>項目コピー</i>

所有者情報詳細画面でで項目を選ぶ▶▶[コピー]
[項目コピー]

所有者画像を転送するかどうかを設定する<画像転送設定>

- 所有者情報詳細画面で▶[画像転送設定]
- 設定を選ぶ
 - [する]▶[はい]
 - [しない]

関連お知らせ

項目コピーについて

- コピーできる項目は次のとおりです。
 - 名前 ■ ご契約の電話番号 ■ 電話番号 ■ メールアドレス
 - 会社・学校、所属、役職 ■ 住所 ■ メモ

画像転送設定について

- 所有者情報を赤外線送信、i C 送信、Bluetooth送信、microSDカードにコピーするとき、所有者画像を転送するかどうかを設定できます。

通話中音声メモ／待受中音声メモ

通話中の相手の声や待受中の自分の声を録音する

音声電話の通話中に相手の声(通話中音声メモ)を録音したり、待受中に自分の声(待受中音声メモ)を録音できます。

- 録音時間は1件につき約15秒で、音声電話伝言メモ(P.77)と合わせて3件まで録音できます。
- 音声メモが約3秒以下のときは、録音されることがあります。
- 通話中音声メモ、待受中音声メモの再生／削除についてはP.79

通話中に相手の声を録音する<通話中音声メモ>

1 音声電話の通話中に▶[通話中音声メモ]

- (1秒以上)でも録音できます。
- 録音停止:
- 録音は約15秒で自動的に終わります。

お知らせ

- 通話中音声メモでは、自分の声は録音されません。ただし、回線の状態などによっては、自分の声が録音されることがあります。
- 圏外通知や番号変更案内などのガイダンスは録音できません。

待受中に自分の声を録音する<待受中音声メモ>

1 カスタムメニューで[Media tool]▶[音声／伝言メモ]▶[録音]

- 待受画面では: (1秒以上)▶[録音]
- 録音停止:
- 送話口から約10cm以内でお話してください。
- 録音は約15秒で自動的に終わります。

お知らせ

- 録音した待受中音声メモは、応答保留音や保留音(P.74)、応答メッセージ(P.78)に設定できます。
- 録音中はボタン／待受 i モーション音は鳴りません。
- 録音中に電話がかかってくると録音は中止されます(中止前までの内容は録音されています)。

通話時間／料金確認

通話時間／料金を表示する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間として音声電話通話時間とテレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内(104)などに通話した場合は、[0円]もしくは[*****円]が表示されます。

- テレビ電話と音声電話を切り替えて使用した場合の料金表示は、[音声電話通話料金〇〇円]、[テレビ電話通話料金〇〇円]と表示されます。複数回切り替えた場合は、音声電話、テレビ電話ごとに、それぞれが合算されて表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金(2004年12月から積算開始)が表示されます。
 - ・ 901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金を表示することはできません(FOMAカードには蓄積されています)。
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間/料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

通話明細を表示する

- 1 カスタムメニューで[Settings] ▶ [NWサービス] ▶ [通話時間/料金確認]

お知らせ

- FOMAカードの読み込み中は、その旨を示すメッセージが表示されます。
- プッシュトーク、i モード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。i モード利用料などの確認方法については、『ご利用ガイドブック(i モード<FOMA>編)]をご覧ください。
- 前回の通話時間が9時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントします。
- 積算の通話時間が999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントします。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 電源を切ると、前回通話料金は[*****円]になります。
- 着もじの送信料金はカウントされません。

- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
- 2in1をご契約いただいている場合、積算通話料金には、AナンバーとBナンバーの合計の金額が表示されます。

通話時間と通話料金をリセットする

前回の通話時間および積算の通話時間・通話料金の記憶を「0」に戻すことができます。

- 1 カスタムメニューで[Settings] ▶ [NWサービス] ▶ [通話時間/料金確認] ▶
- 2 リセットする項目を選ぶ
 - ◆ [積算料金リセット] ▶ PIN2コードを入力 ▶
 - ◆ [積算通話時間リセット] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶
- 3 [はい]

お知らせ

- 積算通話時間をリセットすると、リセットした年月日が記録されます。積算通話料金をリセットすると、リセットした年月日とリセット時の積算通話料金が記録されます。

通話料金の上限を設定して知らせる

<料金上限通知設定>

設定した通話料金の上限を超えた通話が終了したあと、待受画面に戻ったときにストックアイコンを表示したり、アラームで知らせるよう設定できます。また、毎月1日に通話料金をリセットすることもできます。

- 1 カスタムメニューで[Settings] ▶ [NWサービス] ▶ [通話時間/料金確認] ▶ ▶ [料金上限通知設定]
- 2 端末暗証番号を入力 ▶
- 3 [料金上限通知設定]欄を選ぶ ▶ ▶ [有効]

4 [料金上限額設定]欄を選ぶ▶▶上限額を入力▶

5 [通知方法選択]欄を選ぶ▶▶通知方法を選ぶ

- ◆ [アラーム+待受け]▶アラーム音、アラーム音量、鳴動時間を設定する▶
 - ・設定方法はP.390「アラームを設定する」の操作3～5
- ◆ [待受け]

6 [自動リセット]欄を選ぶ▶▶設定を選ぶ▶▶

- [ON]に設定すると、毎月1日午前0時に通話料金をリセットします。

7 PIN2コードを入力▶

お知らせ

- 自動リセットを[ON]に設定すると、日時設定(P.56)で翌月以降に日時を変更したときも通話料金がリセットされます。
- 料金上限通知メッセージが表示されているときに、料金上限通知を再設定すると料金上限通知メッセージが削除されます。

関連操作

待受画面の料金上限通知メッセージを削除する

待受画面で▶▶ストックアイコン[¥](積算料金 上限超過)を選ぶ▶▶端末暗証番号を入力▶

関連お知らせ

- 料金上限通知メッセージを削除すると、積算通話料金をリセットするか、料金上限通知を再設定するまで、料金上限通知メッセージは表示されなくなります。

電卓

電卓として使う

- メモリ計算、パーセント計算、消費税計算なども利用できます。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[電卓]

- 待受画面では:数字を入力▶▶[電卓]

2 計算する

電卓画面のボタン操作

	数字入力		= (計算の実行)
	小数点		C・CE (入力数字削除)
	+/-の切替		RM (メモリ呼出し)
	+ (加算)		% (パーセント計算)
	- (減算)		TAX (消費税計算)
	× (乗算)		M+ (メモリ加算)
	÷ (除算)		CM (クリアメモリ)

※ 2回押すと税抜き額が表示されます。

お知らせ

- メモリ計算を利用すると、電卓を終了しても計算結果は保存されています。
- 消費税計算は小数点以下は切り捨てられます。

関連操作

税率を変更する

電卓画面で (1秒以上)▶税率(01~99)を入力▶

計算内容をコピーする

数字を表示して (1秒以上)

メモを入力する

よく利用する文章を登録しておき、メールやスケジュールを作成するときに利用できます。

- テキストメモは10件まで登録できます。

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [テキストメモ] ▶

▶ [作成] ▶ [新規作成]

- テキストメモ一覧画面で を押しても新規作成できます。

2 [本文] ▶ 本文を入力 ▶

- 全角64文字(半角128文字)まで入力できます。

3 [分類] ▶ 分類アイコンを選ぶ ▶ ▶

メモを利用する

テキストメモの情報を利用して、メールやスケジュールが作成できます。

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [テキストメモ]

2 テキストメモを選ぶ ▶ ▶ ▶ [作成]



3 利用する機能を選ぶ ▶ ▶ 各機能を利用する

- [メール作成]のとき: あらかじめ、メールの本文にメモの本文が入力されています。
- [スケジュール作成]のとき: あらかじめ、内容にメモの本文が、分類にメモの分類が登録されています。

メモを修正する

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [テキストメモ]

2 テキストメモを選ぶ ▶ ▶ [編集]

3 テキストメモを修正 ▶

- 修正方法は、登録時の操作と同様です(☞P.399)。

4 登録方法を選ぶ

- ◆ [新規登録]
- ◆ [上書登録] ▶ [はい]

メモを削除する

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [テキストメモ]

2 テキストメモを選ぶ ▶ ▶ [削除]

3 削除方法を選ぶ

- ◆ [1件削除]
- ◆ [選択削除] ▶ テキストメモを選ぶ (くり返し可) ▶
 - ・ は選択、 は解除の状態です。
- ◆ [全件削除] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶

4 [はい]

関 連 操 作

テキストメモの機能別ロックを設定する<機能別ロック>

テキストメモ一覧画面で ▶ [機能別ロック] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ ▶ [ON]

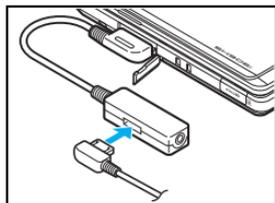
関連お知らせ

- 機能別ロックについては☞P.134

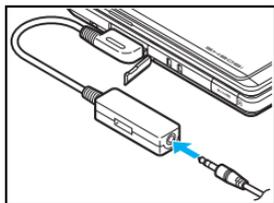
スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

外部接続端子に接続した外部接続端子用イヤホン変換アダプタに、平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続すると、スイッチを押して電話などをかけたり受けたりできます。

平型イヤホン端子



丸型イヤホン端子



- 外部接続端子カバーは無理に引っ張らないでください。破損することがあります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続すると、ボタン/待受モード音は、イヤホンから聞こえます。
- イヤホンからの受話音量は受話音量調節(P.73)で設定されている音量で聞こえます。
- スイッチを連続して押し続けたり離し続けたりしないでください。自動的に電話をかけたり、受けたりすることがあります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。内蔵アンテナが正しく動かないことがあります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードを内蔵アンテナに近づけると、ノイズが入ることがありますので、ご注意ください。
- プラグは確実に差し込んでください。差し込みが不完全で途中で止まっていると音が聞こえないことがあります。
- 通話中にプラグの差し込みが不完全なときは「ブー」という音がしますが故障ではありません。
- 電源を入れたときや操作したときに「パチッ」という音がすることがありますが故障ではありません。
- 丸型イヤホン端子には、直径3.5mmのイヤホンプラグを接続できます。

スイッチ付イヤホンマイクの動作を設定する

<イヤホンスイッチ発信設定>

平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチのみで音声電話をかけるように設定できます。あらかじめ相手の電話番号をFOMA端末(本体)電話帳に登録し、そのメモリ番号を指定します。

- Bluetooth機器をヘッドセットサービスで接続しているときもイヤホンスイッチ発信設定に従います。
- FOMA端末(本体)電話帳のメモリ番号000~999から1件のみ登録することができます。

1 カスタムメニューで[Settings] ▶ [通話・通信機能設定] ▶ [イヤホンスイッチ発信設定] ▶ [音声発信]

2 メモリ番号を入力 ▶

スイッチを使って音声電話をかける

- あらかじめ平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しておいてください。

■ イヤホンスイッチ発信設定で指定したメモリ番号に発信する

1 待受画面でスイッチを2秒以上押す

- ディスプレイの表示が消えているときは、いずれかのボタンを押すかスイッチを1回押し、ディスプレイを表示させてから操作してください。

2 通話が終わったら、スイッチを2秒以上押す

■ 電話番号を入力して発信する

1 待受画面で電話番号を入力▶スイッチを2秒以上押す

- 電話帳やリダイヤル、着信履歴からも発信できます。

2 通話が終わったら、スイッチを2秒以上押す

お知らせ

- イヤホンスイッチ発信設定で設定したメモリ番号に電話番号が複数登録されているときは、1件目に登録されている電話番号に発信します。
- イヤホンスイッチ発信設定に設定したメモリ番号がシークレット登録されているときは、シークレットモードを[ON]に設定してから、スイッチ操作で電話をかけてください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクをFOMA端末に接続したまま、かばんなどに入れると、スイッチが押されて電話がかかってしまうことがあります。使用しないときは、外してください。
- スイッチのないイヤホンマイクを接続してすぐに外すと、自動的に電話をかけてしまうおそれがありますので、ご注意ください。

■ スイッチを使って電話を受ける

音声電話やテレビ電話、プッシュトークを受けることができます。

1 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続する

2 電話がかかってきたら、スイッチを2秒以上押す

- 着信音の出力先は設定できます(☞P.112)。

3 通話が終わったら、スイッチを2秒以上押す

お知らせ

- 着信音が鳴ってから接続すると、スイッチを押していないのに、接続した瞬間に電話を受けてしまうことがありますので、ご注意ください。使用しないときは、外してください。

■ オート着信設定

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続しているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話、プッシュトークを自動的に受けるように設定できます。

- オート着信設定を[オート着信あり]に設定していても、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続していないときは、自動的に電話を受けることはできません(プッシュトークを除く)。

1 カスタムメニューで[Settings]▶[通話・通信機能設定]▶[着信時設定]▶[オート着信設定]

2 項目を選ぶ

- ◆ [電話/テレビ電話]▶[オート着信あり]▶着信時間を入力▶
- ◆ [プッシュトーク]▶[オート着信あり]

お知らせ

- 着信時間を[000秒]に設定すると、着信音やバイブレータが動作せずに電話を受けますので、ご注意ください。
- 電話帳指定着信拒否などで電話を受けないようにしている相手からの着信には応答しません。
- オート着信設定の着信時間と伝言メモ応答時間は、同じ時間に設定できません。
- 留守番電話サービスとオート着信設定を同時に設定している場合、留守番電話サービスの呼出秒数とオート着信設定の着信時間が同じときは、留守番電話サービスが優先されることがあります。オート着信設定を優先させるためには、留守番電話サービスの呼出秒数よりも着信時間を短く設定してください(転送でんわサービスについても同様です)。

Bluetooth機能を利用する

FOMA端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

対応バージョンと対応プロファイル

■ 対応バージョン

Bluetooth標準規格 Ver.2.0+EDR※1

■ 対応プロファイル※2 (対応サービス)

HSP

Headset Profile(ヘッドセットプロファイル)

HFP

Hands Free Profile(ハンズフリープロファイル)

A2DP

Advanced Audio Distribution Profile

(アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル)

AVRCP

Audio/Video Remote Control Profile

(オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル)

HID

Human Interface Device Profile

(ヒューマンインターフェースデバイスプロファイル)

DUN

Dial-up Networking Profile

(ダイヤルアップネットワークングプロファイル)

OPP

Object Push Profile(オブジェクトプッシュプロファイル)

- ※1 FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

- ※2 Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

Bluetooth接続してできること

FOMA端末では、次のサービスを利用できます。

■ ヘッドセット/ハンズフリーで通話する(HSP/HFP)

FOMA端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。

FOMA端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリー通話できます。

■ オーディオ機器で再生する(A2DP/AVRCP)

FOMA端末にワイヤレスイヤホンセット 02(別売)や市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽やワンセグの音声などを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合もあります。ただし、ワンセグやビデオの音声に関しては対応する機器が制限されます。

■ Bluetooth対応キーボードを使う(HID)

FOMA端末に市販のBluetooth対応キーボードをBluetooth接続すると、キーボードから文字入力できます。また、カーソルキー/Enterキー/Escキー/ファンクションキー/数字キーを使って、通常の画面操作を行うこともできます。

■ ワイヤレスでダイヤルアップ接続する(DUN)

FOMA端末にBluetooth対応パソコンなどをBluetooth接続すると、FOMA端末をモデム代わりにしてパケット通信や64Kデータ通信を行うことができます。

- 詳しくは付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

■ データを送受信する(ファイル転送)(OPP)

電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、ブックマーク、現在地通知先、トルカを、Bluetooth機器との間で送受信できます。

お知らせ

- 次の音が、Bluetooth機器から出力されるかFOMA端末から出力されるかは、接続しているサービスに従います。

	接続しているサービス		
	HSP	HFP	A2DP
音声電話発信音	○	○	×
音声電話・テレビ電話着信音	○※1※2	○※2	×
音声電話・テレビ電話時の呼び出し音	○	○	×
音声電話・テレビ電話時の相手の音声	○	○	×
音声電話時の相手の伝言メモの音声	○	○	×
ワンセグの音声	×	×	○※3
i モーション再生音	×	×	○※4
ビデオ再生音	×	×	○※3
PC動画再生音	×	×	×
ミュージックプレーヤー再生音	×	×	○※4
Music&Videoチャネル再生音	×	×	○
アラーム音	×	×	×
メール着信音	通知優先	×	×
	操作優先	×	×
プッシュトーク着信音	×	×	×

○: Bluetooth機器から出力されます。

×: Bluetooth機器からは出力されずFOMA端末から鳴ります。

- ※1 イヤホン切替設定を[イヤホン+スピーカー]に設定していると、Bluetooth機器、FOMA端末の両方から着信音が鳴ります。
- ※2 着信音送付設定を[送らない]に設定している場合、FOMA端末から着信音が鳴ります。
- ※3 SCMS-T方式で著作権保護されているA2DP対応Bluetooth機器でのみ再生できます。

※4 サイトや着信音設定などからプレーヤーを起動した場合は鳴りません。

※5 待受画面以外を表示中はメール着信音は鳴りません。

- お使いのBluetooth機器によっては、前記の動作にならない場合があります。
- マナーモード設定中でも、Bluetooth機器から着信音が鳴ります。
- 市販のBluetooth対応イヤホンやヘッドホンには、Bluetooth標準規格の一部適合していないものがあります。この場合、イヤホンやヘッドホンに雑音が入ることがあります。
- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、以下の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

- FOMA端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境(壁、家具など)、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
- 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります(UHFや衛星放送の特定チャンネルではテレビ画面が乱れることがあります)。
- 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器を鞆やポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器とFOMA端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

- Bluetooth機器と無線LAN (IEEE802.11b/g) は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、FOMA端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
 - 電車内 ■ 航空機内 ■ 病院内
 - 自動ドアや火災報知機から近い場所
 - ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

■ Bluetooth機器の同時利用について

同時に接続して利用可能なBluetooth機器の組み合わせは次のとおりです。

接続中のサービス	ヘッドセット	ハンズフリー	オーディオ	キーボード	ダイヤルアップ	ファイル転送
あとから接続するサービス						
ハンズフリー/ヘッドセット	×※	△	○	○	△	
オーディオ	△	×	○	○	△	
キーボード	○	○	×	○	△	
ダイヤルアップ	○	○	○	×	△	
ファイル転送	△	△	△	△	×	

○:同時に接続して利用できます。

△:同時に接続できますが同時に利用することはできません。マルチアシスタントで機能を切り替えて利用することができます。

×:接続できません。

※ハンズフリーサービスとヘッドセットサービスは同時に接続できませんが、同時に接続待機にはすることができます。

Bluetooth機器を登録する

接続相手のBluetooth機器を検索(サーチ)し、FOMA端末に登録します。10件まで登録できます。

- Bluetooth機器の登録には、Bluetooth/パスキーの入力が必要になります。登録を始める前にお好きな4～16桁の数字を決めておき、FOMA端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力します。
- あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [Bluetooth] ▶ [機器リスト・接続・切断]

- 登録済みの機器があるときは、機器リスト画面が表示されます。
を押して操作3に進みます。

2 [はい]

- FOMA端末周辺にあるBluetooth機器を検索します。検索した機器がリストで表示されます。

3 登録するBluetooth機器を選ぶ ▶ (または ▶ [機器登録])

- 再検索:

4 Bluetoothパスキーを入力 ▶

- オーディオサービスに対応している機器の場合、通常接続機器設定確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、通常接続機器に設定されます。

お知らせ

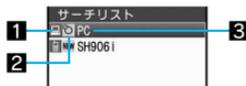
- すでにBluetooth機器が10件登録されている場合、上書き確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、通信日時の古いものから順に上書きされます。
- 相手Bluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をお読みください(ご覧になる取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、「機器登録」の代わりに「ペアリング」と表記されています)。

未登録機器のみを検索して登録する

カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [Bluetooth] ▶ [新規機器登録] ▶ 登録する

- 登録方法についてはP.404「Bluetooth機器を登録する」の操作3～4

■ サーチリスト画面の見かた



1 機器種別アイコン

	コンピュータ		パソコン周辺機器
	電話		イメージング機器
	LAN		ウェアラブル端末
	オーディオ機器		その他

2 区分アイコン

	新しく見つかった未登録の機器
	登録済みで見つかった機器
	登録済みで見つかった機器で通常接続機器設定されている機器
	登録済みで見つかった機器で接続中の機器
	登録済みで通常接続機器設定されている接続中の機器

3 機器名称

Bluetooth機器と接続する

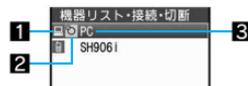
登録済みのBluetooth機器に接続します。

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [Bluetooth] ▶ [機器リスト・接続・切断]

2 接続するBluetooth機器を選ぶ ▶

- サービスを選んで接続: 接続するBluetooth機器を選ぶ ▶ サービスを選ぶ (くり返し可) ▶
- 接続すると [8] が約0.5秒間隔で点滅します。
- Bluetooth機器と切断: 切断するBluetooth機器を選ぶ ▶ ▶ [はい]

■ 機器リスト画面の見かた



1 機器種別アイコン (P.405)

2 区分アイコン

	登録済みで通常接続機器設定されてる未接続の機器
	登録済みで接続中の機器
	登録済みで通常接続機器設定されている接続中の機器

3 機器名称

お知らせ

- 接続処理中や切断処理中にBluetooth機器の電源が切れていたり、Bluetooth機器からの応答がない場合は、処理に最大約20秒かかります。
- 接続中にBluetooth機器から切断された場合、接続していたサービスは接続待機中になります。また、接続中または接続待機中にFOMA端末の電源をOFFにした場合も、次回電源を入れたときに接続または接続待機していたサービスが接続待機中になります。
- 登録済みのBluetooth機器に接続できないときは、登録を削除してから再度機器登録を行うと接続できるようになる場合があります。

関 連 操 作

登録しているBluetooth機器を削除する<削除>

機器リスト画面でBluetooth機器を選ぶ▶▶[削除]▶
[はい]

Bluetooth対応機能の起動時に自動で接続する機器を設定する<通常接続機器設定>

機器リスト画面でBluetooth機器を選ぶ▶▶[通常接続機器設定]▶サービスを選ぶ▶(<くり返し可)>▶

Bluetooth機器の詳細情報を表示する<機器情報>

機器リスト画面でBluetooth機器を選ぶ▶▶[機器情報]
● 機器名称を編集するとき:▶機器名称を編集▶
・ 機器名称は全角16文字(半角32文字)まで入力できます。

登録待機/接続待機にする<接続待機>

待受画面で、他のBluetooth機器からの登録要求/接続要求を受けられる状態にします。

1 カスタムメニューで[LIFEKIT]▶[Bluetooth]▶[接続待機]

- 待受画面では: (1秒以上)
-  が約1秒間隔で点滅します。
- FOMA端末を接続待機にしてから約5分以内に機器登録してください。約5分経過すると が点灯に変わります。
- 接続待機にするサービスを選択:[接続待機]を選ぶ▶▶サービスを選ぶ▶ (<くり返し可)>▶
- 待機状態を解除する場合は、Bluetooth電源をOFFにしてください。

お知らせ

- 相手のBluetooth機器が接続動作を終えてすでに接続待機中の場合、接続が開始されません。このときは、FOMA端末から接続を行ってください。
- 複数のBluetooth機器が登録されている場合に接続待機にすると、接続したいBluetooth機器以外のBluetooth機器に接続することがありますのでご注意ください。
- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。

■ 登録していないBluetooth機器から登録要求を受けた場合

1 待受画面でBluetooth機器からの登録要求▶[はい]▶登録する

- 登録方法についてはP.404「Bluetooth機器を登録する」の操作4

■ 登録済みのBluetooth機器から接続要求を受けた場合

- 自動的に接続し、 が約0.5秒間隔の点滅に変わります。

FOMA端末のBluetooth電源をOFFにする

<Bluetooth電源オフ>

接続中のサービスをすべて停止し、FOMA端末のBluetooth電源を切ります。

- 1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [Bluetooth] ▶ [Bluetooth電源オフ] ▶  ▶ [はい]

お知らせ

- 以下の操作を行うと、Bluetooth電源がONになります。
 - 接続/接続待機
 - サーチ
 - Bluetooth受信/送信
 - Bluetooth対応の機能(ワンセグ、i モーション、ビデオプレーヤー、Music&Videoチャンネル、ミュージックプレーヤー)が起動した場合のBluetooth自動接続
- また、上記処理が完了したあともBluetooth電源はONのままです。FOMA端末の電源OFF、セルフモード中は、Bluetooth電源が自動的にOFFになりますが、FOMA端末の電源ONやセルフモード解除で、元の状態(接続待機)に戻ります。

Bluetooth機器を利用する

- Bluetooth機器の操作については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

■ Bluetooth機器を使って通話する

- 1 Bluetooth機器とヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスで接続する

2 Bluetooth機器で電話をかけるまたは受ける

- Bluetooth機器で通話中は[☎]が表示されます。
- Bluetooth機器での通話とFOMA端末での通話を切替:通話中に  (1秒以上) (または  ▶ [Bluetooth-本体切替])
 - ・ヘッドセットサービスで接続してFOMA端末で通話している場合は、Bluetooth機器側からのみ切り替えできます。
 - ・発信中、着信中、通話保留中、伝言メモ応答中/録音中、応答保留中に  を1秒以上押しても、切り替えできません。

お知らせ

- Bluetooth機器で通話中は、Bluetooth機器で音量を調節してください。
- Bluetooth機器で通話中は、クローズ動作設定にかかわらずFOMA端末を閉じても通話は継続されます。
- 通話中にBluetooth機器から切断された場合、通話は終了します。

■ Bluetooth機器を使ってワンセグやミュージックプレーヤーの音声・音楽を再生する

- 1 Bluetooth機器とオーディオサービスで接続する
- 2 ワンセグやミュージックプレーヤーなどを起動して視聴/再生する

お知らせ

- Bluetooth出力中は、Bluetooth機器で音量を調節してください。
- ミュージックプレーヤーまたはMusic&Videoチャンネルプレーヤー(音声番組)をバックグラウンド再生中でもリモコン操作できます。ただし、プレーヤー画面でない状態や、プレーヤー画面でもサブメニューなどを表示させている状態ではリモコン操作できません。
- Bluetooth機器の状態やFOMA端末の操作によっては、再生中の音声や音楽が途切れることがあります。
- Bluetooth機器から再生中に音声や音楽などが停止した場合は、Bluetooth圏外やBluetooth機器の電源OFFなどが考えられますのでFOMA端末やBluetooth機器を確認してください。このとき、Bluetooth機器によってはオーディオサービスが切断されることがあります。再度Bluetooth機器から再生するには、オーディオサービスを接続し直してください。
- ワイヤレスイヤホンセット 02(別売)を接続するときは、FOMA端末から接続してください。
- カーナビによっては、AMR形式の音楽データが再生できないものがあります。

関連操作

各機能の起動後にBluetooth機器から音声出力する

<Bluetooth出力>

ワンセグやビデオプレーヤーなどを起動中に  ▶
[Bluetooth出力] ▶ [ON]

ミュージックプレーヤーの自動起動を設定する

<ミュージック自動起動設定>

カスタムメニューで [LifeKit] ▶ [Bluetooth] ▶ [Bluetooth設定] ▶ [ミュージック自動起動設定] ▶ 設定を選ぶ ▶ 

各機能の起動時に自動的にBluetooth機器に接続する

<起動時自動接続設定>

ワンセグやビデオプレーヤーなどを起動中に  ▶ [Bluetooth出力] ▶ [起動時自動接続設定] ▶ 設定を選ぶ ▶ 

関連お知らせ

Bluetooth出力について

- 通常接続機器設定されているBluetooth機器に接続されます。

ミュージック自動起動設定について

- ミュージック自動起動設定が [ON] の場合、オーディオサービスを接続待機している状態でBluetooth機器からオーディオサービスの接続を行うと、ミュージックプレーヤーが自動的に起動します。ただし、待受画面以外を表示中は、起動しません。

起動時自動接続設定について

- 起動時自動接続設定が [ON] で、通常接続機器設定されているBluetooth機器がある場合は、事前にオーディオサービスに接続しなくても、ワンセグやミュージックプレーヤーなどを起動するだけでBluetooth機器に自動的に接続されます。
- 視聴予約、録画予約、お目覚めTVによるワンセグ起動時は接続されません。
- 通常接続機器設定されているBluetooth機器がないときは [ON] に設定できません。
- i モーションとMusic&Videoチャンネルには設定できません。
- 設定は次回起動時から有効になります。

Bluetooth対応キーボードを使う

1 Bluetooth対応キーボードとキーボードサービスで接続する

2 文字入力画面でキーボードから入力する

- 入力方式は自動的に [ローマ字方式] になり、近似予測変換とダイレクト変換は [OFF] になります。

Bluetooth対応キーボードについて

- 文字入力画面での便利な操作は、次のとおりです。

文字の選択	Shift+カーソルキー
選択範囲のコピー	Ctrl+C
選択範囲の切り取り	Ctrl+X
貼り付け	Ctrl+V
操作の取り消し(UNDO機能)	Ctrl+Z

- Bluetooth対応キーボードのキーとFOMA端末の操作ボタンは、次のように対応しています。対応したキーで、FOMA端末と同様に操作できます。
 - ・ タッチメニューの選択・決定はできません。待受画面で対応しているキーを押してメニューを呼び出してください。

FOMA端末	Bluetooth対応キーボード
	Esc
	F1※1
	F2
	F3
	F4
	1~9、0
	*「Shift+(コロン)」
	#「Shift+3」
	↑、↓、←、→
	Enter※2※3 (文字入力画面:Ctrl+Enter)

- ※1 メール作成画面で押すと送信できます。
- ※2 ビューアポジションの場合、待受画面で押すとタッチメニューが表示されます。ただし、ストックアイコンが表示されているときは、ストックアイコンのメッセージが表示されます。
- ※3 文字入力画面で押すと[↵] (改行)の入力になります。

お知らせ

- 10キーなど、入力に対応していないキーがあります。
- ビューアポジションのときは横画面表示になり、画面下部にBluetooth対応キーボードのファンクションキーに対応するメニューが表示されます。入力モードの切り替えやカナ英数字変換、単漢字変換など、FOMA端末での操作と同様の操作ができます。
- Bluetooth対応キーボードで操作中は、FOMA端末での文字入力はできません。FOMA端末で文字入力をするときは、入力方式(☞P.424)を[かな方式]/[2タッチ方式]に切り替えてください。この場合、Bluetooth対応キーボードでの操作はできません。
- Bluetooth対応キーボードでは、次の文字列を入力できません。
 - 端末暗証番号
 - クイック検索の内蔵辞書での検索文字列
- フルブラウザ表示中にテキストボックスを選択すると、文字入力画面が表示され文字を入力できます。

データを送受信する

FOMA端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、データの送受信を行うことができます。

- Bluetooth通信中は圏外と同じ状態になり、通話、iモード、データ通信などはできません。
- 通話中は、Bluetooth通信できません。
- データBOXの画像・iモーション・メロディ・PDFや、デコアニメ[®]テンプレートは送受信できません。これ以外の送受信できるデータや各種ロック中の動作については赤外線通信(☞P.349)と同様です。
- 全件転送/パスワード設定を[パスワード有り]に設定している場合、全件データを送信するときに端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要になります。認証パスワードは、Bluetooth通信のための専用パスワードです。送信を始める前にお好きな4桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。

■ データを1件送信する<送信>

例: 電話帳のとき

1 待受画面で 

2 名前を選ぶ  ▶ [データ送信] ▶ [Bluetooth送信] ▶ [送信] ▶ [はい]

- 内容表示画面からも操作できます。
- 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。

3 接続するBluetooth機器を選ぶ ▶ 

■ データを1件受信する<Bluetooth受信>

1 カスタムメニューで [LifeKit] ▶ [Bluetooth] ▶ [Bluetooth受信] ▶ [はい]

- 受信待ち状態になり、送信側のBluetooth機器からデータが送信されると、自動的に受信します。

2 [はい]

■ データを全件送信する<全件送信>

例: 電話帳のとき

1 待受画面で  ▶  ▶ [データ送信] ▶ [Bluetooth送信] ▶ [全件送信]

- 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。

2 端末暗証番号を入力 ▶ 

3 [はい]

4 接続するBluetooth機器を選ぶ ▶ 

■ データを全件受信する<Bluetooth受信>

1 カスタムメニューで [LifeKit] ▶ [Bluetooth] ▶ [Bluetooth受信] ▶ [はい]

- 受信待ち状態になり、送信側のBluetooth機器からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。

2 [はい] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶  ▶ [はい]

- 受信の中止: 受信中に 

Bluetooth機能の設定を行う<Bluetooth設定>

■ 自局情報を確認する<自局情報>

1 カスタムメニューで [LifeKit] ▶ [Bluetooth] ▶ [Bluetooth設定] ▶ [自局情報]

- 機器名称を編集するとき:  ▶ 機器名称を編集 ▶ 
- 機器名称は全角16文字(半角32文字)まで入力できます。

お知らせ

- 機器名称に絵文字を使うと、相手のBluetooth機器によっては正しく表示されないことがあります。

■ Bluetooth機器を検索する時間を設定する<サーチ時間>

1 カスタムメニューで [LifeKit] ▶ [Bluetooth] ▶ [Bluetooth設定] ▶ [サーチ時間]

2 サーチ時間を入力 ▶ 

Bluetooth認証を行うかどうかを設定する<セキュリティ設定>

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [Bluetooth] ▶
[Bluetooth設定] ▶ [セキュリティ設定]

2 設定を選ぶ ▶

お知らせ

- [🔒]が表示されている場合は設定できません。

暗号化を行うかどうかを設定する<暗号化設定>

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [Bluetooth] ▶
[Bluetooth設定] ▶ [暗号化設定]

2 設定を選ぶ ▶

お知らせ

- セキュリティ設定を[無し]に設定している場合は設定できません。
- [🔒]が表示されている場合は設定できません。

着信音をBluetooth機器へ送出手続きかどうかを設定する<着信音送出手続き設定>

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [Bluetooth] ▶
[Bluetooth設定] ▶ [着信音送出手続き設定]

2 設定を選ぶ ▶

お知らせ

- ハンズフリーサービスまたはヘッドセットサービスに接続している場合は設定できません。

認証パスワードの入力を行うかどうかを設定する<全件転送パスワード設定>

Bluetooth通信で全件データを送信するときに認証パスワードの入力を行うかどうかを設定します。

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [Bluetooth] ▶
[Bluetooth設定] ▶ [全件転送パスワード設定]

2 設定を選ぶ ▶

設定リセット

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す

お客様が設定できる内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- お買い上げ時の状態についてはP.458～P.475「カスタムメニュー/基本メニュー一覧」
- きせかえツールが設定できる項目は、本体色にかかわらず、[プリインストール]フォルダ内のきせかえツール[White] (本体色White用)の設定となります。
きせかえツールが設定できる項目についてはP.119「カスタムメニューのデザインを変更する」

1 カスタムメニューで[Settings] ▶ [一般設定] ▶ [設定リセット]

2 端末暗証番号を入力 ▶

- 2in1利用中は、2in1機能をOFFにする旨のメッセージが表示されます。[確認]を選択します。

3 [はい] ▶ [確認]

お知らせ

- 次のものはリセット(削除・変更)されません。リセットするときには、それぞれのページを参照してください。
 - 伝言メモなどの録音内容 (P.79)
 - 電話帳の登録内容 (P.104) ■ Bilingual (P.125)
 - 端末暗証番号 (P.129)
 - 電話帳指定着信許可リスト (P.138)
 - 電話帳指定着信拒否リスト (P.138)
 - 画面メモ (P.180) ■ メール (P.215)
 - 署名の登録内容 (P.219)
 - microSDカード内のデータ (P.347)
 - データBOXのデータ (P.347)

- アラーム (P.387)
- スケジュール (P.392)
- 所有者情報 (P.395)
- テキストメモ (P.399)
- ユーザ辞書 (P.422)
- ダウンロード辞書 (P.423)
- ネットワークサービスの設定 (P.426~P.440)
- i モードの設定リセットについては P.187
- メールの設定リセットについては P.221
- ワンセグの設定リセットについては P.300
- 設定リセットを行うと、i チャネルテロップは表示されなくなります。最新の情報を受信するか、チャネル一覧を表示すると、i チャネルテロップが自動的に表示されます。
- 設定リセットを行うと、2in1機能OFFになります。また、次の設定はリセットされます。
 - モード切替
 - モード別待受画面設定
 - 発信番号表示設定
 - Bナンバー着信設定
- Bluetooth電源がONのときは設定リセットできません。

ユーザデータ削除

登録データを一括して削除する

お客様が登録されたデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- FOMA端末の保護されているデータも削除されます。
- お買い上げ時の状態については P.458~P.475「カスタムメニュー/基本メニュー一覧」

<p>削除されるデータ</p>	<p>電話帳(電話帳2in1設定含む)、プッシュトーク電話帳、データBOX内の静止画・着うたフル®・Music&Videoチャネル・動画・ワンセグデータ・メロディ・PDFデータ・きせかえツール・マチキャラ・キャラ電、i アプリ、メール(受信BOXの「Welcome♪SH906i♪」を含む)、メッセージR/F、ブックマーク、画面メモ、ダウンロード辞書、音声メモ、テキストメモ、アラーム設定、リダイヤル、着信履歴、送信メッセージ履歴、メール送信履歴、メール受信履歴、URL履歴、署名、ユーザ辞書、マンガ・ブックリーダーのしおり、フォルダ、SMS、i アプリメールのデータ、デコメ®テンプレート、デコメアニメ®テンプレート、伝言メモ(録音した応答ガイダンス含む)、バーコードリーダーで読み取ったデータ、スケジュール(登録・変更した祝日を含む)、トルカ、ラストURL、電話帳お預かりサービスの通信履歴、メッセージ(着もじ)、位置履歴、現在地通知先、ソフトウェア更新関連情報(予約情報、更新お知らせストックアイコン、書換え予告ストックアイコン、ダウンロード済みの更新ファイル)、予約録画履歴、手書き認証の登録データ、うた・ホータイの再生期限情報</p>
-----------------	--

お買い上げ時の状態に戻る設定	各種設定リセット(※P.411)の対象となる設定、画面設定、着信メロディ設定、伝言メモ応答メッセージ、定型文、学習機能、各種設定、端末暗証番号、日時設定、カスタムメニュー、基本メニュー、ショートカットメニュー、通話時間、テーマ・各種画面設定、応答メッセージ登録、USSD登録、所有者情報(ご契約の電話番号以外)、プッシュトークグループ、プッシュトーク設定、メールメンバー、URL入力、プッシュフィックス設定、データBOXのマイピクチャ・i モーション・メロディ・マイドキュメントの各種動作設定、メール設定(SMSセンター設定、SMS有効期間設定、SMS本文入力設定を除く)、i モード設定、i アプリ設定、GPS設定、オペレータ名表示設定、ネットワークサーチ設定、放送用保存領域のデータ、テレビリンク、チャンネルリスト
お買い上げ時に登録されているデータで削除されるもの	デコメ [®] テンプレート、デコメアニメ [®] テンプレート
お買い上げ時に登録されているデータで削除されないもの	メロディ、マイピクチャ、i モーション、きせかえツール、マチキャラ、PDFデータ、キャラ電、i アプリ、フォルダ

1 カスタムメニューで[Settings] ▶ [セキュリティ] ▶ [データ一括削除] ▶ [ユーザーデータ削除]

2 [確認] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ ▶ [はい]

- 2in1利用中は、2in1機能をOFFにする旨のメッセージが表示されます。[確認]を選択します。
- ユーザーデータ削除後に端末を再起動する旨のメッセージが表示されます。
- ユーザーデータ削除には、20分程度かかることがあります。

お知らせ

- データー一括削除中は、他の機能を使用できません。また、音声電話/テレビ電話の着信やメールの受信、アラーム、ワンセグ予約録画などは動作しません。
- データー一括削除は、電池残量が[]以上の状態で行ってください。電池残量が不十分のときは、一括削除できないことがあります。
- データー一括削除を行っているときは、電源を切らないでください。
- FOMAカードやmicroSDカードに保存・登録・設定されているデータは削除されません。
- 他の機能が動作中は、一括削除できません。
- データー一括削除中は、表示が乱れることがありますのでFOMA端末を閉じないでください。
- ユーザーデータ削除を行うと、i チャネルテロップは表示されなくなります。最新の情報を受信するか、チャネル一覧を表示すると、i チャネルテロップが自動的に表示されます。

SH-MODEの利用方法

お買い上げ時に登録されているデータなどを、i Menu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます。

[i Menu] ▶ [メニューリスト] ▶ [ケータイ電話メーカー] ▶ [SH-MODE]

- ダウンロードには別途バケット通信料がかかります。



サイト接続用
QRコード

シークレットデータをまとめて削除する

<シークレットデータ削除>

電話帳、スケジュールにシークレット登録したデータを、一括して削除できます。

- 1 カスタムメニューで[Settings] ▶ [セキュリティ] ▶ [データ一括削除] ▶ [シークレットデータ削除]
- 2 端末暗証番号を入力 ▶ ▶ [はい]